

## オンラインサポート

とやましオンラインサポート事業で培ったノウハウを、地域の方へ共有することを目的に「Web会議システムの導入・活用」に関する研修プログラムを作成しました。6月は2件(JAひだ/富山県助産師会)からの要請を受け研修を実施。地域ごとに点在する仲間との意見交換や、勉強会を実現するサポートとして、事前打合せでの分担表・タイムテーブル作成機材の接続方法やオンライン上での進行の仕方をお伝えした他、リハーサル・本番に同席し参加者・運営者のフォローを行いました。今後も、それぞれの団体に最適な活用方法を見つけるように伴走していきます。



▲JAひだ研修の様子

主催:JAひだ 開催日:2021年6月10日(木)  
参加者:14名

主催:富山県助産師会 開催日:2021年6月12日(土)  
参加者:56名(うち会場参加 26名)

まちスポとやま 令和3年度

## 第1回 ウェルビーイング研修

今年度も、「とやまし元気プログラム」開催が決まりました!6月11日(金)は企画運営をするコンシェルジュに向けた研修会を実施しました。本事業の発足時から推進役として関わっていただいている、日本ヘルスサイエンスセンター 石川雄一先生を講師にお招きし、本事業の重要なポイントであるウェルビーイングの実践に向けて、「ウェルビーイングとは何か」をテーマにワークショップを通して学びを深めました。



富山市民1人ひとりがウェルビーイング(健康で幸福な状態)を目指せるような企画をコンシェルジュで作っていきます。

主催:富山市福祉政策課、  
認定NPO法人まちづくりスポットまちスポとやま  
開催日:2021年6月11日(金) 参加者数:8名



もうすぐ、“夏”!  
残り半年また  
頑張りましょう!!!  
ピリーム



素敵な皆様との出会いで  
幸せな毎日♪  
新藤



熱中症にならないよう  
こまめに水分補給!  
野首

### ホームページと各SNSで

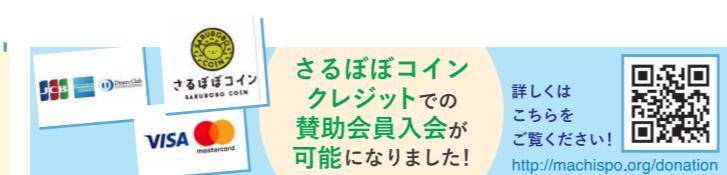
発信中

ホームページ

ひだちブログ

Facebook

インスタ



活動を応援してくださる方を  
募集しています。

個人年会費 1口 ¥3,000  
法人年会費 1口 ¥5,000

納入先  
郵便振替 00840-9-183216 特定非営利活動法人まちづくりスポット  
飛騨信用組合 松泰寺支店(普)0793442 特定非営利活動法人まちづくりスポット  
高山信用金庫 駅西支店(普)0166788 特定非営利活動法人まちづくりスポット

2021年7月15日発行(通巻89号)

発行:認定NPO法人 まちづくりスポット 発行者:竹内 ゆみ子 編集:五十嵐 浩子  
〒506-0025 岐阜県高山市天満町1-5-8 フレスポ飛騨高山内 TEL 0577-62-8550

FAX 0577-62-8580 E-mail: info@machispo.org

毎月の事業報告!

2021.7.15 July

会報 **Machispo** Vol.89

1年の折り返しよー

Since 2012.3.4



まちスポ飛騨高山 まちスポとやま

## 第10回 認定NPO法人 まちづくりスポット総会

日時

2021年6月7日(月)  
14時15分~15時15分

場所

飛騨・世界生活文化センター  
およびテレビ会議システム  
「Zoom」

認定NPO法人まちづくりスポットの年に1回の通常総会が飛騨・世界生活文化センターであります。

総会は議決権を持つ正会員が集まって、団体の活動方針を決める大切な会議。オンラインのテレビ会議ツールも活用しながら正会員12名と事務局含むオブザーバー10名の合計22名が参加し総会が開かれました。

本当に一部分だけですが、まちスポの2020年度を振り返ると、コロナ禍で制約はありつつもオンラインで人がつながる勉強会を飛騨地域3市1村と富山市のNPO関係者が集まり勉強する機会を作りました。距離や時間に制約されない新しいつながりを作る希望を感じました。

まちスポ飛騨高山では高山市、下呂市、飛騨市、白川村と連携し医療従事者を応援する飛騨地域医療支援プロジェクトクラウドファンディングでは1,000万円の目標を上回る2,800万円が集まりました。560人の皆様から集まった優しい気持ちを延べ60の飛騨地域医療機関にお届けしました。

まちスポとやまではコロナ禍で社会と分断された特にシ



ニア層が、オンラインを活用し人とつながるために、県内2,000を越える福祉施設に案内し、延べ130回、1000人が活動に参加しオンラインで人と人がつながる機会をつくるサポートをおこないました。

コロナがもたらした地域に起きた様々な問題に対して活動してきた1年でした。

2021年度、まだまだ私たちと新型コロナウイルスの共生は続きます。急激に変わる人々の生活様式に取り残される人も、新たな挑戦を始める人もいます。どちらにも寄り添い、コミュニティ活動を応援していきたいと思います。

また、私たちだけでは解決できない問題も多くあります。飛騨地域医療支援プロジェクトのように、地域で起こる様々な問題に対して、多くの人に解決に向けて寄付や活動参加してもらえるような仕組みを作っていく1年にしたいと思います。

2021年度もまちづくりスポットをよろしくお願いいたします。

### 高山スタッフ

- マネージャー 加藤 莉穂
- コーディネーター スタッフルバック ケルシー
- コーディネーター 五十嵐 浩子
- コーディネーター 新藤 真由香
- コーディネーター 野首 あゆみ

### とやまスタッフ

- マネージャー 中川 翔平
- マネージャー代行 本間 あかり
- コーディネーター 板屋 亜希恵
- コーディネーター・経理 カステイロ 美智子
- サブコーディネーター サンピブーン ワンララック

### 役員

- |                |           |             |
|----------------|-----------|-------------|
| 理事 溝際 清太郎      | 理事 竹内 由美子 | 理事 坂口 みづえ   |
| 理事 森内 潤一       | 理事 安江 健一  | 副代表理事 長瀬 達三 |
| 専務理事/事務局長 田辺友也 | 理事 伴 和史   | 理事 中田 久美子   |
| 監事 中崎 雄二       | 監事 鳥居 翼   |             |

飛び出せ★元気市民  
ひだ



きみこニットサークル  
やってみよう展  
実行委員会

たけもと きみこ  
竹本 紀美子さん

(なんでも)やつてみんなか  
とにかくなんか

今回の取材は、ニットマスクにマスクピン、ニットの服にアクセサリー、染めのパンツ…素敵な全身手作りコーデの「きみこニットサークル やつてみよう実行委員会」の竹本紀美子さん。饒舌で快活な飛騨弁の「やかましきみちゃん」(竹本さんの愛称)にお話を聞かせて頂きました。



### もの作りのはじめの一歩・きっかけ

大工の父のもとで育った竹本さんは小さい頃からもの作りが好きで、編物を始めたのは10歳の頃。教えてくれたのは、親戚のおばちゃん達でした。編物の楽しさを知ってもらおうと、民間の資格を取り、41年前に編物教室を始めました。

文部科学省後援の編物技能検定審査委員の資格を取得し、中学や高校等にも指導を行っています。指導を続ける中で感じたのは、昔は皆が当たり前にできていた事ができない人が増えてきた事。もの作りのはじめの一歩・きっかけに、「とにかくなんか(なんでも)やつてみんなか」と、やってみよう展実行委員会を起ち上げたのは20年以上前の事です。

心がけているのは、リサイクル・リメイク。昨年4月のコロナ禍には自宅にあったさらし等を活用した手作り布マスクを、飛騨市に寄付されました。残り糸で世界に1つしかないブローチ等の作品を作る事は面白く、家にある残り物をうまく使い切れた時はとても嬉しく感じるそうです。他にも大工をしている弟と一緒に、飛騨の木の端材で「あじろう(屋号)のボタン」を作っています。



大人は整理しようとしたり机に当たはめようとしてしまいがち。でも、子ども達の感性はすごく、面白い物を作るから自由に作った方がいいと、あえて見本を作らないようにしています。メインの活動「子どもぞ

うきんコン  
テスト」は  
今年16回

目を迎えます。毎年、岐阜県内から集まつてくるぞうきんは約300枚。大雨による災害があった下呂市へ、過去には熊本県や新潟県等の災害やイベント等に寄付をし、とても感謝されたそうです。

### 「手は宝、何でもできる手を大事にしよよ」

何も予定のない日がない位に忙しい竹本さんが今はまっている事は、果物を育てる「ももりんごの会」での農作業。編物とはあえて違う慣れない事をやり、関係ない話をする時間を楽しみにしています。

「手は宝、何でもできる手を大事にしよよ」と昔よく言われていたと振り返り、「自分でできる範囲でやれる事をやるだけ。じゃないと続けられない。先生にも友達にも恵まれているから私のできない事は頼る。」と、もの作りを続けるうえでの想いを話して下さいました。

印刷業を営んでいるご主人には名刺やチラシ等を依頼し、サポートしてもらっています。竹本さん自身がそうだったように、親の姿を見ているので、息子さんや娘さんも、もの作りをする事が好きだそうです。

これからも竹本さんのオリジナリティー溢れる世界に1つだけの作品を楽しみにしています。

(まちスポサポーター 大志多恵子)



### ご連絡はこちらまで

#### ▼まちスポ飛騨高山

〒506-0025 岐阜県高山市天満町1-5-8(フレスピ飛騨高山内)  
TEL: 0577-62-8550 FAX: 0577-62-8580  
E-mail: info@machispo.org HP: http://machispo.org

#### ▼まちスポとやま

〒930-003富山市富山市鷺曲輪4丁目4-3(鷺曲輪レガートスクエア内)  
TEL: 076-461-3332 FAX: 076-461-3359  
E-mail: toyama@machispo.org HP: http://machispo.org

まちスポ飛騨高山

# 地域活動の情報発信 まちづくりの推進事業

2021年5月14日

場所: Guest house & Cafe SOY  
参加者: ひだこっぽん 6名  
まちスポスタッフ 2名

## みんなのやりたい事・想いの整理 ワークショップの開催

地域の居場所づくり(子ども食堂)設立を目指す「ひだこっぽん」のミーティングにまちスポスタッフが参加しました。

ひだこっぽんのメンバーは、「昔ながらの伝統と子ども達の未来を守りながら、地域全体が和気あいあいと過ごせる場所を飛騨に作りたい!みんなの夢を語ろうよ!」という声掛けで集まり、職種も出身も様々です。そんな中、「仲間は集まつたけれど何から始めたらいいか分からぬ」とまちスポに相談が寄せられました。

そこで、まちスポスタッフがコーディネーターになりポストイットを使ったワークショップを行いました。

ワークショップでは、みなさん一人ひとりのやりたい事や想いをポストイットに書いて出し合いました。想いを文



字にして共有することで、目指す第一歩が見えてきたり、やっていきたい具体的活動が見えてきました。

熱い思いと抜群の行動力を持ったひだこっぽんのこれからのご活動が楽しみです。

まちスポでは、交流スペースの貸し出しや活動相談対応以外にも、団体に合った様々な方法で活動のお手伝いもしております。お気軽にご連絡ください。

### まちスポとやま

### 新スタッフ紹介/

にいくら たかし  
**新鞍 隆**



### 中トロで赤霧島を一杯やりながら、マスターズを見ること

今年のオーガスタは松山の優勝で終わりました。感動しました。見ていただけですが、何か自信がついたような気がしました。そういう人は他にもいるはずです。

### オペラの序曲

昔古い車に乗っている頃、付属のカーステレオが壊れてCDが取り出せなくなったりがありました。家内が買ってきたクラシック音楽のダイジェスト版がそのCDで、ひどく怒られました。車のエンジンをかける毎に、そのCDが自慢げに演奏されるのでクラシックを聞くようになりました。特にニュールンベルグのマイスターインガーのオーバーチュアを好んでいます。

### 力二と国会

カニをバリバリやりながらビールを飲み、国会中継を見ることが好きです。特に衆議院の予算委員会は気持ちが盛り上がります。